

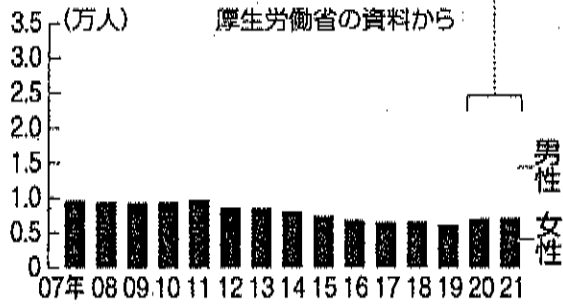
# 女性・若者の自殺減らず

## 昨年原因は「経済・生活問題」増

コロナ禍で女性や若者の自殺が増える傾向が続いていることが、厚生労働省が15日公表した2021年の自殺者数（確定値）で明らかになった。女性は前年比0・6%（42人）増、年代別には20代が同3・6%（90人）増で、いずれも2年連続での増加となった。

21年の自殺者数全体は、前年より74人少ない2万1007人で2年ぶりに減少。男性は1万3939人（前年比11・6人減）で12年連続で減った。一方、女性は7068人で、20年に前年比15・4%（935人）と急増してから、高止まりの水準となっている。また、年代別にみると、20代は21年に同3・6%増

女性の自殺者数は2年連続で増えた  
厚生労働省の資料から



の2611人だった。20年に同19・1%（404人）増えており、コロナ禍前と比べて厳しい状況が続く。

人口10万人あたりの自殺者数を示す「自殺死亡率」は全体で16・8となり、前年より0・1ポイント上昇した。都道府県別で最も高かった

■悩み相談は…  
「NPO法人 あなたのいばしょ」  
チャット  
<https://talkme.jp/>  
(24時間対応)  
「いのちの電話」  
0570・783・556  
午前10時～午後10時

のは、ともに23・7だった青森と山梨。

原因や動機をみると、最も多かったのは「健康問題」の9860人だったが、前年よりも335人減った。一方、2番目に多かったのは「経済・生活問題」の3376人で、前年より160人増えた。

厚生省の担当者は「20年から女性や若者の自殺が増え、必要なタイミングで相談ができる態勢づくりを続けたい」と話す。（久永隆二）